

☆ AWC事務局便り 7月号 ☆

かいこプロジェクト特集号

アジアの女性と子どもネットワークの「かいこプロジェクト」

『かいこプロジェクト』は桑畑を作り、蚕を育て販売することで、子どもたちの自立支援を促すことを目的に、2012年から開始した事業です。現在タイ北部チェンマイ県のバン・メーランカムスクールとストリートチルドレン保護施設「子どもの家」の二か所で実施しています。

タイシルクは世界でも有名です。しかし、タイで昔から行われてきた養蚕は、手間がかかる上に化学繊維にシェアを奪われ、現在は衰退しつつあります。そんな中、世界的にシルクの天然素材の良さや機能を見直す動きが起きています。この動きに注目し、私たちは「かいこプロジェクト」を開始しました。新しいものを持ち込むのではなく、タイで昔から行われていたことなので、土地にも事業に携わる人にも無理のないプロジェクトです。

国籍を持たなくて仕事に就くことが難しいストリートチルドレンや、貧困地域の村や子どもたちの自立のために収入に繋がる仕事をし桑や蚕を育てる事業を通し、子どもたちが命の大切さや、根気よく取り組むことの重要性を伝え、収入に繋がることで自分に自信が持てるようになる事を願っています。それは彼らの学習環境改善や職業訓練にもつながっていきます。



日本から桑の植栽に参加（2012年）

子どもの家

子どもの家では2012年8月に桑の苗を植え、2013年3月には試行錯誤を繰り返しながら初めての養蚕を実施しました。2度目の養蚕は2013年10月に高校生を中心として子どもたち全員で養蚕に取り組みました。桑も、蚕も成長が速いので子どもたちは育成を楽しみにし、養蚕を通して子どもたちに「やる気」と「根気」がでてきました。繭を収



穫した後のさなぎを食べるのも子どもたちの楽しみの一つです。現在は桑が大きく育ち、次の養蚕の準備をしています。

バン・メーランカムスクール

バンメーランカムスクールは山岳地域に位置しているために朝夕の気温差があり、桑の成長もゆっくりです。この学校の養蚕事業には保護者も一緒に参加しているので、今年の5月26日の始業式には保護者も桑畑で成長を確認しました。かいこの飼育のためにはまだ桑の木が必要なので、さらに畑を広げています。

今年は養蚕が始められるようにと、子どもたちも、先生も、保護者も期待して桑の成長を見守っています。



ご寄付のお願い

「かいこプロジェクト」を応援してください！
一口1,000円のご寄付で、桑の苗を2本植えることができます。ご協力をお願い申し上げます。

振込先：郵便振替口座

番号：00200-0-4109

口座名：AWC

*備考欄に「かいこプロジェクト」とご記入ください。

AIDS文化フォーラム in 横浜

8月1日～3日、「第21回 AIDS文化フォーラム in 横浜」に出展します。1階の展示会場でAIDS孤児に関する展示と、山岳民族の手工芸品の販売を行います。ぜひご来場ください。

日時：8月1日（金）～3日（日）

10:00～17:30

会場：神奈川県民サポートセンター 1F